

ドローン 飛行前チェックリスト



提供：SkyLink Japan / skylinkjapan.com

Ver 1.1 / 庁内での複製・改変可

災害対応時／離陸前に、上から順に指差し確認する — 1つでも埋まらなければ飛ばさない

日時 _____ 任務名 _____

1 法令・空域 「許可があるから飛べる」ではない

- ☐ 捜索・救助等の特例（航空法132条の92）の3要件に該当する 国・地方公共団体等が飛行／急迫した危難のおそれ／捜索・救助が目的。欠けたら通常の許可・承認とDIPS2.0の通報が必要。
- ☐ 緊急用務空域の指定を当日確認した 国交省サイト／X @mlit_mujinki。許可を受けていても飛行できない（特例適用時を除く）。
- ☐ 空港事務所へ通知した 150m以上・空港等周辺・緊急用務空域のとき。目的／範囲／高度／日時／機体／連絡先を伝える。
- ☐ 本部・有人機・他のドローンと空域を調整した 防災／ドクター／自衛隊／報道ヘリの活動と、区域・高度・時間帯の重複を本部経由で確認
- ☐ 機体登録・登録記号の表示・リモートID 特例を適用しても免除されない。事故・重大インシデントの報告義務も同じ。

2 機体・装備

- ☐ 機体の点検 プロペラ・ネジ・コネクタ・異音
- ☐ バッテリー／燃料 往復＋予備（低温・降雨は多めに）
- ☐ 通信・GNSSの受信 離陸地点と飛行先の双方で確認
- ☐ 帰還設定 帰還高度・地点・リンク切断時の動作
- ☐ 時刻の同期 機体・カメラ・記録端末
- ☐ 記録の準備 位置・時刻付きで残す。口頭報告に頼らない

3 現場の体制 操縦者に判断を集中させない

- ☐ 離着陸場所と退避経路 冠水・崩落のおそれがない場所
- ☐ 立入管理と補助者の配置 住民・報道・他機関の車両も対象
- ☐ 上空を見る担当を置いた 有人機の発見が最優先
- ☐ 中止の合図を決めた 誰がどの言葉で宣言するか

4 1つでも該当したら飛ばさない 迷ったら飛ばさない。撮れない情報は他の手段で埋める

- 風速 5m/s 以上・突風
- 雨、または降雨のおそれ
- 雲・霧で視程不良
- 雷鳴・積乱雲の接近
- バッテリー・燃料が不足
- 通信・GNSSが不安定
- 補助者なしで立入監視不可
- 離着陸場所が確保できない
- 機体に異常・警告表示

飛行中も同じ。有人機を確認した／第三者が飛行範囲に立ち入った／突風など不測の事態が生じたときは、その場で中止する。数値は航空局標準飛行マニュアルの基準。自組織の飛行マニュアルがより厳しい場合はそちらを優先する。

事故時 事故・重大インシデントが起きた場合の連絡先 空欄は各自治体で事前に記入し、ラミネートしてから配備する

自部署（防災担当課）	_____	災害対策本部	_____
飛行責任者（携帯）	_____	消防・警察	_____
管轄の空港事務所	_____	無人航空機安全課	_____

事故時の手順 — 上から順に行う

- 1 飛行を中止し、人を守る
負傷者の救護と危険防止の措置。
必要なら119／110へ通報
- 2 自部署・本部へ第一報
発生時刻・場所・状況・けが人の
有無を分かる範囲で先に伝える
- 3 国（航空局）へ報告
無人航空機安全課。執務時間外は
管轄の空港事務所（24時間）へ電
話。特例適用時も免除されない。

報告対象：人の死傷／第三者の物件の損傷／機体の紛失／航空機との衝突・接近。機体・記録データ・現場写真はそのまま保全する（消さない・飛ばし直さない）。

機体の修理・
メンテナンス依頼



SkyLink Japan
skylinkjapan.com